



平成26年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トップカルチャー

コード番号 7640 URL <http://www.topculture.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 遠海 武則

TEL 025-232-0008

四半期報告書提出予定日 平成26年6月12日

配当支払開始予定日

平成26年7月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第2四半期の連結業績(平成25年11月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第2四半期	18,023	△1.5	427	△28.5	398	△19.5	233	13.1
25年10月期第2四半期	18,298	6.7	598	32.6	494	21.7	206	323.3

(注)包括利益 26年10月期第2四半期 235百万円 (10.3%) 25年10月期第2四半期 213百万円 (301.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第2四半期	19.49	19.39
25年10月期第2四半期	17.24	17.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年10月期第2四半期	25,496	7,666	29.9	634.63
25年10月期	24,740	7,532	30.2	622.42

(参考)自己資本 26年10月期第2四半期 7,618百万円 25年10月期 7,471百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	7.50	—	7.50	15.00
26年10月期	—	7.50	—	—	—
26年10月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の連結業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,500	10.7	1,090	126.0	1,020	236.1	560	385.1	46.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年10月期2Q	12,688,000 株	25年10月期	12,688,000 株
② 期末自己株式数	26年10月期2Q	683,545 株	25年10月期	683,545 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年10月期2Q	12,004,455 株	25年10月期2Q	12,000,124 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の回復基調がより明確になってまいりましたが、その反面いくつもの不確定要因が内外に残っており、依然として楽観を許さない状況にあります。小売業界におきましては、本年4月の消費増税を控えて3月には駆け込み消費が顕著となる一方、4月に予想されていた反動による消費の減速は概ね想定範囲内であり、企業業績の回復が徐々に消費動向に反映されつつあるように見えます。

このような状況の中、当社グループは本や映画、音楽やゲームを通じて新たな発見や感動と出会える「日常的エンターテイメントのご提供」をコンセプトに、魅力的な店舗づくりを進めてまいりました。

当社の大型複合店舗は、3,000㎡を越す広い売場面積に、さまざまなカテゴリーの商品を取り揃え、書籍を入り口としてお客さまを新たな体験へといざなう、「ライフスタイル提案の場」を目指しております。昨年11月に埼玉県本庄市に出店いたしました「蔦屋書店本庄早稲田店」では、生活シーンごとにテーマを設定し、書籍や関連アイテムを同一の売り場で展開するという、新たな試みを取り入れました。既存店におきましても、カフェの導入をはじめとして大小さまざまな規模の改装を実施し、お客様が当社の店舗に期待する価値を上回るよう努めてまいりました。

一方、音楽・映像レンタルを主力とする小型店舗につきましては、店舗のコンセプトが当社の目指す戦略と乖離してきたため、4月末に5店舗の営業譲渡を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間末のグループ合計店舗数は72店舗となりました。なお、同様の理由で5月末にも1店舗の営業譲渡を実施しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高18,023百万円（前年同期比98.5%）、営業利益427百万円（前年同期比71.5%）、経常利益398百万円（前年同期比80.5%）、四半期純利益233百万円（前年同期比113.1%）となりました。

売上・利益の増減要因

売上面につきましては、当社グループの主軸である蔦屋書店事業において、書籍の売上が伸長し、前年同期比103.4%となりましたが、レンタル、文具、CD・DVD販売の各部門で売上高が前年同期を下回ったため、同事業の売上高前年同期比は98.6%（既存店96.2%）となりました。

利益面につきましては、仕入原価の見直しに取り組んだ結果、連結売上総利益は前年同期比100.9%となりましたが、大型店の出店に伴って人件費を中心に販売費及び一般管理費が増加し、連結実績で前年同期比104.3%となりました。その結果、営業利益は前年同期比28.5%減少し427百万円、経常利益は前年同期比19.5%減少し398百万円となりました。一方、四半期純利益は前年同期比13.1%増加し233百万円となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

①蔦屋書店事業

当セグメントの第2四半期連結累計期間の業績は、売上高17,571百万円（前年同期比98.6%）、セグメント利益は408百万円（前年同期比71.6%）となりました。

主力商品の売上高前年同期比は、書籍103.4%（既存店100.3%）、文具98.7%（既存店95.6%）、レンタル89.5%（既存店89.0%）、販売用CD82.0%（既存店80.2%）、販売用DVD72.4%

(既存店70.7%)となりました。書籍は、前年度の新店・増床店が通期で寄与したほか、期初に出店した新店も売上増に貢献しました。文具は、話題商品、趣味文具、生活雑貨等のライフスタイルを提案する品揃えが売り上げに貢献いたしましたが、特売商品の一部で消化率が伸び悩みました。レンタルは、前年同期と比較して新作・話題作の商品力が及ばずに伸び悩みました。販売用CD・DVDは、市場全体の縮小傾向が続いていることと、大型タイトルの不在が影響いたしました。

②その他

当セグメントの第2四半期連結累計期間の業績は、売上高454百万円(前年同期比92.2%)、セグメント損益は15百万円の損失(前年同期比3百万円費用増)となりました。

中古買取販売事業は、売上高前年同期比88.6%となりました。中古書籍売上高は前年同期比99.6%とほぼ前年並みを維持いたしましたが、ゲーム機の世代交代を目前にしたハードの買控えや既存機種での新作ソフトの減少傾向などを受け、ゲーム売上高は前年同期比87.0%と停滞いたしました。一方、スポーツ関連事業は、売上高前年同期比106.8%となりました。サッカークラブおよびサッカースクールの会費収入は前年同期比97.4%とわずかに減少いたしました。イベント売上が前年同期比135.5%と伸びました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産につきましては、前連結会計年度末比756百万円増加し、25,496百万円となりました。これは主に現金及び預金が219百万円増加したほか、売掛金が443百万円、商品が599百万円、建物及び構築物が339百万円それぞれ増加する一方で、長期前払費用が730百万円減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比622百万円増加し、17,830百万円となりました。これは主に、長期借入金が1,650百万円増加する一方で、短期借入金が999百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比133百万円増加し、7,666百万円となりました。これは主に、利益剰余金が143百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ219百万円増加し、1,128百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は62百万円(前年同期比313百万円資金減)となりました。これは主に、売上債権の406百万円増加、たな卸資産の675百万円減少、仕入債務の903百万円減少、長期前払費用の349百万円減少などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は348百万円(前年同期比15百万円資金減)となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入れによる支出が前年同期比で131百万円減少する一方で、有形固定資産の取得によ

る支出が前年同期比で222百万円増加したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は504百万円(前年同期比116百万円資金増)となりました。これは主に、長期借入れによる収入が1,500百万円増加する一方で、短期借入金が増減額が前年同期に比べ1,299百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第二四半期連結累計期間におきましては、利益の水準が期初の予想を下回りましたが、小型店6店舗の営業譲渡により、経営資源をより戦略的に配分できることや、6月に開店する蔦屋書店東松山店(埼玉県東松山市)の寄与などにより、期初予想の達成は可能と考えております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	919,312	1,138,765
売掛金	185,467	628,698
商品	8,691,637	9,291,217
前払費用	302,575	319,612
繰延税金資産	55,225	54,323
未収入金	249,296	346,055
その他	55,430	50,091
貸倒引当金	△268	△265
流動資産合計	10,458,677	11,828,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,799,189	3,139,131
土地	1,487,798	1,487,798
リース資産(純額)	3,604,895	3,616,317
その他(純額)	56,084	53,163
有形固定資産合計	7,947,967	8,296,409
無形固定資産		
のれん	67,401	27,512
その他	44,251	43,426
無形固定資産合計	111,653	70,938
投資その他の資産		
繰延税金資産	245,322	237,444
敷金及び保証金	3,844,337	3,651,149
その他	2,133,574	1,413,316
貸倒引当金	△1,420	△1,420
投資その他の資産合計	6,221,814	5,300,490
固定資産合計	14,281,435	13,667,838
資産合計	24,740,112	25,496,338

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,864,302	3,816,999
短期借入金	2,545,040	1,545,750
1年内返済予定の長期借入金	1,136,092	1,373,902
リース債務	547,360	590,204
未払法人税等	57,648	225,771
賞与引当金	70,000	55,000
未払金	478,721	467,650
その他	1,032,118	870,145
流動負債合計	9,731,282	8,945,423
固定負債		
長期借入金	3,200,351	4,851,287
リース債務	3,232,735	3,178,756
資産除去債務	432,888	459,720
退職給付引当金	100,827	95,006
役員退職慰労引当金	68,278	68,278
長期未払金	327,831	122,884
長期預り敷金保証金	113,686	108,757
固定負債合計	7,476,599	8,884,690
負債合計	17,207,881	17,830,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,007,370	2,007,370
資本剰余金	2,303,691	2,303,691
利益剰余金	3,475,496	3,619,393
自己株式	△305,814	△305,814
株主資本合計	7,480,743	7,624,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,943	△6,207
その他の包括利益累計額合計	△8,943	△6,207
新株予約権	32,832	21,338
少数株主持分	27,598	26,452
純資産合計	7,532,230	7,666,224
負債純資産合計	24,740,112	25,496,338

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
売上高	18,298,750	18,023,778
売上原価	12,474,732	12,147,752
売上総利益	5,824,018	5,876,026
販売費及び一般管理費	5,225,953	5,448,405
営業利益	598,064	427,620
営業外収益		
受取利息	15,305	13,950
原子力立地給付金	5,426	7,875
助成金収入	2,246	9,913
その他	29,585	19,945
営業外収益合計	52,563	51,685
営業外費用		
持分法による投資損失	72,175	—
支払利息	83,775	81,287
営業外費用合計	155,951	81,287
経常利益	494,676	398,018
特別利益		
投資有価証券売却益	—	35,000
新株予約権戻入益	—	11,494
特別利益合計	—	46,494
特別損失		
固定資産売却損	60,081	—
特別損失合計	60,081	—
税金等調整前四半期純利益	434,594	444,513
法人税、住民税及び事業税	231,602	204,445
法人税等調整額	△5,522	7,282
法人税等合計	226,079	211,728
少数株主損益調整前四半期純利益	208,514	232,784
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,638	△1,146
四半期純利益	206,875	233,930

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	208,514	232,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,995	2,736
その他の包括利益合計	4,995	2,736
四半期包括利益	213,510	235,520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	211,871	236,667
少数株主に係る四半期包括利益	1,638	△1,146

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	434,594	444,513
減価償却費	430,529	437,261
のれん償却額	37,969	39,888
貸倒引当金の増減額(△は減少)	17	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,000	△15,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,640	△5,821
受取利息及び受取配当金	△15,305	△13,950
支払利息	83,775	81,287
固定資産売却損益(△は益)	60,081	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△35,000
新株予約権戻入益	—	△11,494
持分法による投資損益(△は益)	72,175	—
売上債権の増減額(△は増加)	△37,092	△443,230
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,275,551	△599,579
仕入債務の増減額(△は減少)	855,877	△47,303
未払消費税等の増減額(△は減少)	△40,080	64,140
長期前払費用の増減額(△は増加)	△82,511	267,273
その他	61,172	29,134
小計	593,012	192,116
利息及び配当金の受取額	533	530
利息の支払額	△84,272	△81,987
法人税等の支払額	△132,890	△47,722
営業活動によるキャッシュ・フロー	376,383	62,936
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△269,981	△492,360
有形固定資産の売却による収入	38,335	1,000
投資有価証券の取得による支出	—	△4,893
関係会社株式の取得による支出	△98,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	35,000
敷金及び保証金の回収による収入	146,137	131,592
敷金及び保証金の差入による支出	△154,822	△23,709
その他	6,051	5,338
投資活動によるキャッシュ・フロー	△332,279	△348,032
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	△999,290
長期借入れによる収入	1,100,000	2,600,000
長期借入金の返済による支出	△642,128	△711,254
リース債務の返済による支出	△278,964	△294,501
配当金の支払額	△90,566	△90,405
その他	4	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	388,345	504,548
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	432,449	219,452
現金及び現金同等物の期首残高	679,141	909,312
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,111,591	1,128,765

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以降に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないこととなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成26年11月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については従来の37.76%から35.38%になります。

なお、当該税率変更に伴う影響は軽微であります。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年11月1日 至 平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	17,807,678	491,071	18,298,750	—	18,298,750
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,551	1,848	6,400	△6,400	—
計	17,812,230	492,920	18,305,150	△6,400	18,298,750
セグメント利益又は損失(△)	569,946	△12,712	557,234	40,830	598,064

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年11月1日 至 平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	17,571,263	452,515	18,023,778	—	18,023,778
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,117	2,117	△2,117	—
計	17,571,263	454,632	18,025,896	△2,117	18,023,778
セグメント利益又は損失(△)	408,162	△15,372	392,790	34,830	427,620

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

商品別販売状況

区 分		前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年11月1日 至 平成25年4月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年4月30日)		前年同期比 (%)
		売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	
蔦屋書店事業	書籍	8,194,353	44.8	8,472,876	47.0	103.4
	レンタル	3,486,782	19.0	3,118,941	17.3	89.5
	文具	1,719,041	9.4	1,687,945	9.4	98.2
	販売用CD	1,387,202	7.6	1,137,664	6.3	82.0
	ゲーム	836,553	4.6	755,747	4.2	90.3
	販売用DVD	961,164	5.3	695,575	3.9	72.4
	リサイクル	157,696	0.8	169,161	0.9	107.3
	その他	1,064,884	5.8	1,533,350	8.5	144.0
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,551	0.0	—	—	—
	計	17,812,230	97.3	17,571,263	97.5	98.6
その他	外部顧客に対する売上高	491,071	2.7	452,515	2.5	92.1
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,848	0.0	2,117	0.0	114.6
	計	492,920	2.7	454,632	2.5	92.2
合計		18,305,150	100.0	18,025,896	100.0	98.5

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

3. 蔦屋書店事業の「その他」は、電化製品、生テープ、図書カード、賃貸不動産収入などであります。